

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-12006

(P2007-12006A)

(43) 公開日 平成19年1月18日(2007.1.18)

(51) Int. Cl.

G06Q 10/00 (2006.01)

F I

G06F 17/60 158

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2005-216463 (P2005-216463)

(22) 出願日 平成17年6月28日(2005.6.28)

(71) 出願人 593089895

株式会社オービックビジネスコンサルタン
ト

東京都新宿区西新宿6丁目8番1号

(72) 発明者 和田 成史

東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 住友
不動産新宿オークタワー32F 株式会社
オービックビジネスコンサルタント

(72) 発明者 中山 茂

東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 住友
不動産新宿オークタワー32F 株式会社
オービックビジネスコンサルタント

最終頁に続く

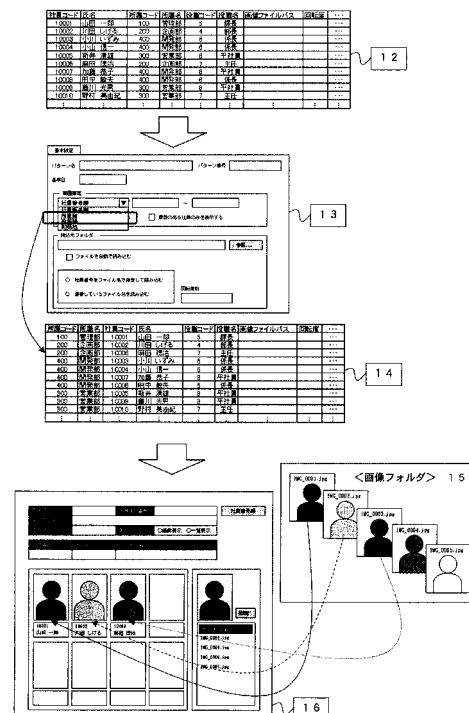
(54) 【発明の名称】 社員情報データと画像ファイルを一括でリンクする機能を備えた人事情報登録システム

(57) 【要約】

【課題】 人事情報登録システムにおいて、社員情報データとデジタルカメラやスキャナなどの外部で用意した画像ファイルをリンクするためには、社員一人ずつの社員情報データを読み出し、画像ファイルを指定してリンクする必要があった。また、社員情報データとリンクして表示する画像ファイルは、デジタルカメラやスキャナなどの外部で用意し保存した状態の向きでしか登録（表示）することができなかった。

【解決手段】 デジタルカメラやスキャナなどの外部で用意したファイル識別符号を付された複数の画像ファイルを、画像ファイルの内容にあわせて所定の選択条件に対応する社員情報データを用意し、一括でリンクする。また、デジタルカメラやスキャナなどの外部で用意した画像ファイルを社員情報データとリンクする際に、画像ファイルの正しい向きに回転して登録（表示）する。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

社員ごとに社員の属性を記録した社員情報を格納する社員情報格納手段と、
ファイル識別符号が付された複数の画像ファイルを格納する画像ファイル格納手段と、
社員の属性について指定された条件に対応して、前記社員情報を並び替えるルールを記憶した社員情報の並び替えルール記憶手段と、
社員の属性について指定された条件の選択を受け付けると、前記並び替えルール記憶手段から対応する並び替えルールを取得して、前記並び替えルールに従って前記社員情報格納手段から読み出した社員情報を並び替え、並び替えられた社員情報の順に所定の領域に画像ファイル表示用の枠を設けて、画像ファイル格納手段からファイル識別符号順に読み出した画像ファイルを前記枠内にリンクして表示する画像ファイル表示手段と、
を備えることを特徴とする人事情報登録システム。

10

【請求項 2】

前記画像ファイル表示手段が画像ファイル格納手段から読み出した画像ファイルのファイル識別符号を一覧表示するファイル識別符号表示手段と、
前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルが対応する社員本人に関する画像ファイルと一致しない場合に、画像ファイル表示用の枠と前記ファイル識別符号表示手段によって一覧表示されたファイル識別符号の一つの選択を受け付けると、前記枠内にリンクして表示する画像ファイルを前記ファイル識別符号に対応する画像ファイルに変更する画像ファイル変更手段と、
を備えることを特徴とする請求項 1 記載の人事情報登録システム。

20

【請求項 3】

前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルが対応する社員本人に関する画像ファイルと一致したことを確認する情報を受け付けると、前記社員情報格納手段において対応する社員情報に一致した画像ファイルのファイル識別符号を登録する画像ファイル登録手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の人事情報登録システム。

【請求項 4】

前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルの表示角度が適切でない場合に、前記画像ファイルを適切に表示するために指定された回転条件を受け付けると、前記社員情報格納手段において対応する社員情報に前記回転条件を登録する回転条件登録手段を備えていて、
前記画像ファイル表示手段は、前記画像ファイル格納手段から読み出した画像ファイルを、対応する社員情報に登録された回転条件に従って回転させて、画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示すること
を特徴とする請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の人事情報登録システム。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、社員情報データを管理する人事管理システムを利用して、所定の選択条件に対応する社員情報に並び替えを行い、任意のフォルダに格納されているファイル識別符号が付された複数の画像ファイルを一括で取り込み、並び替えを行った社員情報データと一括でリンクする機能を備える人事情報登録プログラムを用いた人事管理システムに関するものである。

40

【背景技術】**【0002】**

会社組織の社員情報を管理するために、パソコンをはじめとするコンピュータシステムを用いて人事管理システムで運用されている。会社組織では、会社内の活性化や効率化を図るために組織の枠組みを変更する組織変更や人事異動が行われる。その組織変更や人事異動に対応するために、組織の登録や人事異動発令を一括集中して行うことができる人事管

50

理システムは提案されている（例えば、特許文献 1、特許文献 2、特許文献 3 参照。）。

【0003】

【特許文献 1】特開 2003 - 323528 号公報

【特許文献 2】特開 2004 - 139436 号公報

【特許文献 3】特開 2005 - 115613 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

前記のような機能を備えた人事管理システムにおいては、人事異動や人事管理方法を明確化し業務を効率化する工夫が行われているが、社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意した画像ファイルのリンク方法について関連した機能を備えているものは存在していない。 10

【0005】

人事管理システムにおいて、社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意した画像ファイルをリンクするには、各社員の社員情報データを個別に呼び出し、外部で用意した画像ファイルを各社員個別にリンクしている。

【0006】

人事管理システムにおいて、社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意した画像ファイルをリンクした場合、社員情報データとして表示される画像ファイルは、ハードディスク内に保存された状態の向きでリンクされそのままの状態が表示されるため、画像ファイルが正しくない向きで表示される場合がある。 20

【0007】

そこで、本発明は、人事管理システムにおいて、社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意した画像ファイルをリンクすることを課題とする。

【0008】

さらに、本発明は、人事管理システムにおいて、所定の選択条件に対応する社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意したファイル識別符号を付された複数の画像ファイルを一括でリンクすることを課題とする。 30

【0009】

さらに、本発明は、人事管理システムにおいて、所定の選択条件に対応する社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意したファイル識別符号を付された複数の画像ファイルを一括でリンクした後に、リンクしたそれぞれの画像ファイルが正しく社員情報データとリンクできているかを、確認することができるように一覧形式で参照できることを課題とする。

【0010】

さらに、本発明は、人事管理システムにおいて、所定の選択条件に対応する社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意したファイル識別符号を付された複数の画像ファイルを一括でリンクし一覧形式で表示した場合に、社員情報データと正しくリンクできていない画像ファイルがある場合は、正しい画像ファイルに入れ替えできることを課題とする。 40

【0011】

さらに、本発明は、人事管理システムにおいて、所定の選択条件に対応する社員情報データと社員情報データの一部として必要となる顔写真や自宅地図などの外部で用意したファイル識別符号を付された複数の画像ファイルを一括でリンクし一覧形式で表示した場合に、画像ファイルの向きが正しくない場合は、画像ファイルの正しい向きとなる回転条件を登録できることを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0012】

これらの課題を解決するために、本発明は、まず、画像ファイルのリンク方法に注目した。通常、社員情報データとリンクするために用意する画像ファイルは、例えば、所属別や役職別、支店別、新入社員など何らかのまとまりで用意すると考える。そう考えると、画像ファイルに何かしらの意味（例えば、ファイル名に社員番号を含むなど、個別の判断がつくもの）を持たせるのではなく、人事情報登録プログラム側で、何らかのまとまりである画像ファイルの条件にあわせて社員情報を整列すれば、一括でファイル識別符号を付された複数の画像ファイルをファイル識別符号順にリンクできる。

【0013】

本発明は、社員ごとに社員の属性を記録した社員情報を格納する社員情報格納手段と、ファイル識別符号が付された複数の画像ファイルを格納する画像ファイル格納手段と、社員の属性について指定された条件に対応して、前記社員情報を並び替えるルールを記憶した社員情報の並び替えルール記憶手段と、社員の属性について指定された条件の選択を受け付けると、前記並び替えルール記憶手段から対応する並び替えルールを取得して、前記並び替えルールに従って前記社員情報格納手段から読み出した社員情報を並び替え、並び替えられた社員情報の順に所定の領域に画像ファイル表示用の枠を設けて、画像ファイル格納手段からファイル識別符号順に読み出した画像ファイルを前記枠内にリンクして表示する画像ファイル表示手段と、を備えることを特徴とする。

10

【0014】

さらに、本発明は、前記画像ファイル表示手段が画像ファイル格納手段から読み出した画像ファイルのファイル識別符号を一覧表示するファイル識別符号表示手段と、前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルが対応する社員本人に関する画像ファイルと一致しない場合に、画像ファイル表示用の枠と前記ファイル識別符号表示手段によって一覧表示されたファイル識別符号の一つの選択を受け付けると、前記枠内にリンクして表示する画像ファイルを前記ファイル識別符号に対応する画像ファイルに変更する画像ファイル変更手段と、を備えることを特徴としてもよい。

20

【0015】

さらに、本発明は、前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルが対応する社員本人に関する画像ファイルと一致したことを確認する情報を受け付けると、前記社員情報格納手段において対応する社員情報に一致した画像ファイルのファイル識別符号を登録する画像ファイル登録手段を備えることを特徴としてもよい。

30

【0016】

さらに、本発明は、前記画像ファイル表示手段によって画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示された画像ファイルの表示角度が適切でない場合に、前記画像ファイルを適切に表示するために指定された回転条件を受け付けると、前記社員情報格納手段において対応する社員情報に前記回転条件を登録する回転条件登録手段を備えていて、前記画像ファイル表示手段は、前記画像ファイル格納手段から読み出した画像ファイルを、対応する社員情報に登録された回転条件に従って回転させて、画像ファイル表示用の枠内にリンクして表示することを特徴としてもよい。

40

【発明の効果】

【0017】

この発明により、人事管理システムにおいて、社員情報の一部として必要となる顔写真や自宅地図など社員情報データとは別に格納されている画像ファイルを、社員情報データと一括でリンクすることにより、社員情報に顔写真や自宅地図などを関連付ける作業を効率化することができる。

【0018】

さらに、この発明により、ファイル識別符号を付された複数の画像ファイルと社員情報データを一括でリンクした場合で、画像ファイルが正しい社員情報データとリンクしていない場合に、正しい画像ファイルと入れ替える作業を、画像ファイルを外部システムで取り

50

直すことなくより効率的に行うことができる。

【 0 0 1 9 】

さらに、この発明により、ファイル識別符号を付された複数の画像ファイルと社員情報データを一括でリンクした場合で、画像ファイルが正しい向きで社員情報データとリンクしていない場合に、画像ファイルが正しい向きとなる回転条件を社員情報データに登録することにより、画像ファイルを外部システムで取り直すことなくより効率的に作業を行うことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 2 0 】

本発明を実施するための最良の形態について、図面を用いて以下に詳細に説明する。尚、10
以下の説明では社員情報に顔写真を登録する例について説明するが、本発明において登録される画像ファイルは顔写真に限られず、例えば自宅の地図など他の画像ファイルを対象とするものであってもよい。以下の説明は本発明の実施形態の一例であって、本発明はこのような実施形態に限定されるものではない。

【 0 0 2 1 】

図 1 は、本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、必要となるパーソナルコンピュータ内の、ハードウェアやプログラム、データを示した図である。図 2 は、本発明にかかる人事情報登録システムの処理フローを示すフローチャートである。図 3 は、本発明にかかる人事情報登録システムの運用の一例を示す図である。図 4 は、本発明にかかる人事情報登録システムで用いられる社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。図 5 は、本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、社員情報データとリンクする画像データに関連する情報をテーブル形式で示す図である。図 6 は、本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の条件（所属コード＋社員番号）で並び替えた社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。図 7 は、本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の条件（役職コード＋社員番号）で並び替えた社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。図 8 は、本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の条件で並び替えた社員情報データと外部で用意した画像ファイルをリンクし一覧形式で表示した画面を示す図である。 20

【 0 0 2 2 】

図 1 において、本発明にかかる人事情報登録システムで用いられる人事情報登録プログラム 6 は、HDD 4 内に保存されている。HDD 4 は、CPU 2 やメモリ 3 と一緒にハードウェアである 1 台の PC 1 内部に設けられており、本発明にかかる人事情報登録システムを起動する際には、人事情報登録プログラム 6 がメモリ 3 又は HDD 4 の仮想化されたメモリ領域に読み出されて、CPU 2 において演算処理を実行する。PC 1 は、入力装置（マウス 10、キーボード 11）から操作することができる。 30

【 0 0 2 3 】

図 1 において、人事情報登録プログラム 6 が起動されると、社員の属性情報が格納された社員情報データ格納部 7 から、画像ファイルの登録の対象となる社員情報データを取得して（例えば顔写真を撮影した所定の部署、所定の日付などを対象として特定する）、取得した社員情報データはメモリ 3 に保持される。社員情報データ格納部 7 のデータテーブルは、社員の属性データが入力された初期の状態においては、図 4（図 3 の 12 も同じ）の例に示したようになっていて、画像ファイルの保存されているファイルパスや画像ファイルの回転角度を指定するデータは登録されていない。 40

【 0 0 2 4 】

ここで図 3 を用いて、人事情報登録プログラム 6 によって、上記のように登録対象として取得した社員情報データに各々の社員の顔写真等の画像ファイルを登録するフローについて説明する。

【 0 0 2 5 】

図 3 の 13 は、社員情報データに社員の顔写真等の画像ファイルを登録するための入力画面の一例を示している。この例に示すように、社員情報データ格納部 7 に格納された各々 50

の社員データと、画像ファイル格納部 9 においてファイル識別符号により特定される画像ファイルをリンクするために、次のような入力操作によってデータの対応付けを行う。

【 0 0 2 6 】

図 3 の 1 3 の画面には、社員情報データを所定の条件に従って並び替えるための「範囲指定」のプルダウンメニューが設けられている。ここで選択可能なメニューについては、それぞれ社員情報データをソートするためのキーとなるデータ列に関する条件、例えば「所属順」であれば「所属コードのフィールドを昇順」に、「役職順」であれば「役職コードのフィールドを昇順」にソートする、といった条件が条件テーブル 8 に関連付けて記憶されている。

【 0 0 2 7 】

ここで、図 3 の 1 3 に示したように、プルダウンメニューに示された条件のうち、「所属順」を選択したとする。「所属順」の選択を受け付けると、条件テーブル 8 を参照して、「所属順」が選択された場合の社員情報データの整列条件として、「所属コードのフィールドを昇順にソートする」という条件を特定する。

【 0 0 2 8 】

社員情報データの整列条件が特定されると、はじめに人事情報登録プログラム 6 が取得した図 4 (図 3 の 1 2 も同じ) の状態で社員コード順に整列された社員情報データを、所属コードをキーとして図 6 (図 3 の 1 4 も同じ) の状態にソートするように、メモリ上で社員情報データの並び替えを行う。

【 0 0 2 9 】

このように社員情報データを並び替えるための整列条件は、画像ファイル格納部 9 に格納された画像ファイルのファイル識別符号がどのように付されているかを推測して選択することが必要になる。例えば画像ファイル格納部 9 には顔写真の画像ファイルが格納されており、顔写真の撮影を所属部署順に行った場合であれば、整列条件には「所属順」を選択する。顔写真の撮影を勤務地別に行った場合であれば、整列条件には「勤務地順」を選択する。このように、画像ファイルの撮影順等を考慮して社員情報データをソートすると、整列された社員情報データは画像ファイル格納部 9 に格納された画像ファイルのファイル識別符号に比較的近い状態になる確率が高いものと考えられる。

【 0 0 3 0 】

但し、画像ファイル格納部 9 に格納されている全ての画像ファイルが何らかの意味のある順序で整列されているとは限らないので、画像ファイル格納部 9 に格納されている画像ファイルは、撮影部署、撮影地、撮影日などの意味のある単位で区別できるようにフォルダを作成して格納しておき、何らかの条件で社員情報データ格納部 7 から絞り込んで取得した社員情報データと、これに対応する画像ファイル格納部 9 の対応付けを行うように操作することが好ましい。

【 0 0 3 1 】

図 3 の 1 3 の例では、「読込元」フォルダの入力項目が設けられているが、ここで画像ファイルの登録対象となっている社員情報データに対応する画像ファイルが保存されているフォルダのファイルパスを指定する。指定されたファイルパスから画像ファイルを取得し、図 6 (図 3 の 1 4) のテーブルの形式でメモリ上に並び替えた社員情報データの順番で、図 3 の 1 5 に示すように撮影順に保存されているファイル識別符号を付された複数の画像ファイルをファイル識別符号順にリンクし、図 3 の 1 6 (図 8 も同じ) に示すように、一覧形式で表示する。この例ではファイル識別符号として数字列からなるファイル No. を用いて説明するが、ファイルを特定が可能であれば文字その他の符号を含むものであってもよい。

【 0 0 3 2 】

図 3 の 1 6 (図 8 も同じ) のように表示された画像ファイルの一覧においては、社員情報データを整列した基準を画像ファイルのファイル識別符号の順序と整合させているために、社員コード・社員名と顔写真が一致している確率が高くなることになる。但し、この操作のみで完全に一致するとは限らないので、図 8 の拡大図にも示しているように、社員コ

10

20

30

40

50

ード・社員名に顔写真を埋め込んで一覧表示した枠外に、確認用にファイル識別符号に対応する画像ファイルを表示するための表示欄が設けられる。ここで、ファイル識別符号を選択すると、選択した画像ファイルの顔写真を確認することができるため、一覧表示した画像ファイルの顔写真が社員コード・社員名と一致していない場合は、社員コード・社員名を指定した状態で正しい画像ファイルのファイル名を枠外の表示欄において選択すると、指定された社員コード・社員名に対応する社員情報データにリンクするファイル識別符号を入れ替えることによって、一覧表示した画面内で正しい顔写真を表示させることができる。

【0033】

また、一覧形式で表示した場合に、表示した画像ファイルの向きが正しくない場合、例えば横向きの顔写真の画像ファイルが保存されていれば画面にも横向きの顔写真が表示されてしまうため、一覧表示の枠外の表示欄に設けられた「回転」のボタンを選択すると、例えば90°毎といった予め指定された単位で画像ファイルが回転して表示され（画像ファイルの回転については、回転度を個別に指定するよう構成してもよい）、画面内で正しい画像ファイルの向きに変更することができる。

【0034】

上記のように、画像ファイルの入れ替え、向きの調整についての処理が完了して、対象となる全ての社員について正確な表示が行われたことを確認すると、確定ボタン等を選択して確定処理を行うことによって、表示されている社員情報データについて対応する顔写真の画像ファイルパスと正確に表示するための回転度が特定され、特定されたデータが社員情報データ7において未登録であった画像ファイルパスのフィールドと回転度のフィールドにデータが登録される。

【0035】

尚、特定された画像ファイルのファイルパスと回転度に関する情報は、図4や図7の例に示した社員情報データの画像ファイルパスのフィールドと回転度のフィールドに直接データを登録することとしてもよいが、社員情報データには画像ファイルのファイル名のみを登録し、画像の保存場所と回転度については別途他のテーブルにおいて管理することとしてもよい。図5は、このような場合に社員情報データとリンクする画像データに関連する情報を管理するテーブルの一例を示したものであるが、各々の画像データに関する情報と社員情報データとは、ファイル識別符号をキーにリンクすることになる。

【0036】

また、これまでの例では、所属部順に顔写真を撮影したケースについて説明したが、例えば所属部に関わらず役職者から順に顔写真を撮影したケースであれば、図7の例に示したように、役職コードをキーに社員情報データをソートすることによって、同様の処理を行うことができる。

【0037】

これまで説明した本発明にかかる人事情報登録システムの一連の処理フローは、図2に示したフローチャートのように整理することができる。

【図面の簡単な説明】

【0038】

【図1】本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、必要となるパーソナルコンピュータ内の、ハードウェアやプログラム、データを示した図である。

【図2】本発明にかかる人事情報登録システムの処理フローを示すフローチャートである。

【図3】本発明にかかる人事情報登録システムの運用の一例を示す図である。

【図4】本発明にかかる人事情報登録システムで用いられる社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。

【図5】本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、社員情報データとリンクする画像データに関連する情報をテーブル形式で示す図である。

【図6】本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の選択条件（所属コード＋

10

20

30

40

50

社員番号)で並び替えた社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。

【図7】本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の選択条件(役職コード+社員番号)で並び替えた社員情報データのデータテーブルの一部を示す図である。

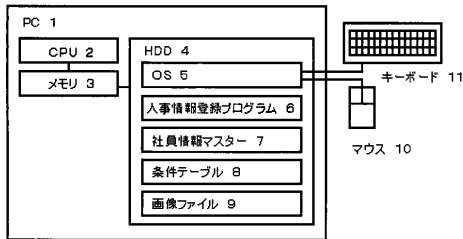
【図8】本発明にかかる人事情報登録システムにおいて、所定の選択条件で並び替えた社員情報データと外部で用意した画像ファイルをリンクし一覧形式で表示した画面を示す図である。

【符号の説明】

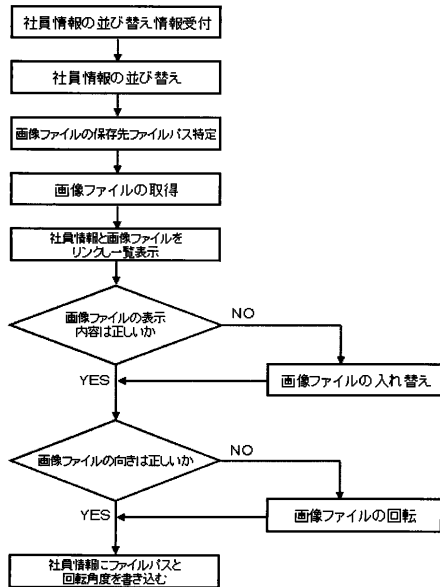
【0039】

- 1 ... P C (パーソナルコンピュータ)
- 2 ... C P U (中央演算処理装置) 10
- 3 ... メモリ
- 4 ... H D D (ハードディスクドライブ)
- 5 ... O S (オペレーティングシステム)
- 6 ... 人事情報登録プログラム
- 7 ... 社員情報データ格納部
- 8 ... 条件テーブル
- 9 ... 画像ファイル格納部
- 10 ... キーボード
- 11 ... マウス
- 12 ... 人事管理システムで管理する社員情報データのデータテーブルの一部 20
- 13 ... 人事情報登録プログラムの選択条件設定ダイアログ
- 14 ... 所定の選択条件(所属コード+社員番号)で並び替えた社員情報データのデータテーブルの一部
- 15 ... 画像ファイルの保存されているフォルダ内のイメージ
- 16 ... 所定の条件で並び替えた社員情報データと外部で用意した画像ファイルをリンクし一覧形式で表示した画面

【図 1】



【図 2】



【図 4】

社員コード	氏名	所属コード	所属名	役職コード	役職名	画像ファイルパス	回転度	...
10001	山田 一郎	100	管理部	5	課長	...	...	...
10002	川田 しげる	200	企画部	4	部長	...	...	...
10003	小川 いずみ	400	開発部	6	係長	...	...	...
10004	小山 信一	400	開発部	6	係長	...	...	...
10005	新井 清雄	300	営業部	8	平社員	...	...	...
10006	麻田 徳治	200	企画部	7	主任	...	...	...
10007	加藤 恭子	400	開発部	8	平社員	...	...	...
10008	田中 敏夫	400	開発部	6	係長	...	...	...
10009	藤川 光男	300	営業部	8	平社員	...	...	...
10010	野村 美由紀	300	営業部	7	主任	...	...	...

【図 5】

画像ファイル名	保存先パス	回転角度	...
IMG_0001.jpg	C:\画像\IMG_0001.jpg	90度	...
IMG_0002.jpg	C:\画像\IMG_0002.jpg	0度	...
IMG_0003.jpg	C:\画像\IMG_0003.jpg	0度	...
IMG_0004.jpg	C:\画像\IMG_0004.jpg	90度	...
IMG_0005.jpg	C:\画像\IMG_0005.jpg	0度	...
IMG_0006.jpg	C:\画像\IMG_0006.jpg	180度	...
IMG_0007.jpg	C:\画像\IMG_0007.jpg	0度	...
IMG_0008.jpg	C:\画像\IMG_0008.jpg	180度	...
IMG_0009.jpg	C:\画像\IMG_0009.jpg	270度	...
IMG_0010.jpg	C:\画像\IMG_0010.jpg	0度	...

【図 6】

所属コード	所属名	社員コード	氏名	役職コード	役職名	画像ファイルパス	回転度	...
100	管理部	10001	山田 一郎	5	課長	...	...	...
200	企画部	10002	川田 しげる	4	部長	...	...	...
200	企画部	10006	麻田 徳治	7	主任	...	...	...
400	開発部	10003	小川 いずみ	6	係長	...	...	...
400	開発部	10004	小山 信一	6	係長	...	...	...
400	開発部	10007	加藤 恭子	8	平社員	...	...	...
400	開発部	10008	田中 敏夫	6	係長	...	...	...
300	営業部	10005	新井 清雄	8	平社員	...	...	...
300	営業部	10009	藤川 光男	8	平社員	...	...	...
300	営業部	10010	野村 美由紀	7	主任	...	...	...

【図 3】

社員コード	氏名	所属コード	所属名	役職コード	役職名	画像ファイルパス	回転度	...
10001	山田 一郎	100	管理部	5	課長	...	...	...
10002	川田 しげる	200	企画部	4	部長	...	...	...
10003	小川 いずみ	400	開発部	6	係長	...	...	...
10004	小山 信一	400	開発部	6	係長	...	...	...
10005	新井 清雄	300	営業部	8	平社員	...	...	...
10006	麻田 徳治	200	企画部	7	主任	...	...	...
10007	加藤 恭子	400	開発部	8	平社員	...	...	...
10008	田中 敏夫	400	開発部	6	係長	...	...	...
10009	藤川 光男	300	営業部	8	平社員	...	...	...
10010	野村 美由紀	300	営業部	7	主任	...	...	...

社員コード	氏名	所属コード	所属名	役職コード	役職名	画像ファイルパス	回転度	...
100	管理部	10001	山田 一郎	5	課長	...	...	...
200	企画部	10002	川田 しげる	4	部長	...	...	...
200	企画部	10006	麻田 徳治	7	主任	...	...	...
400	開発部	10003	小川 いずみ	6	係長	...	...	...
400	開発部	10004	小山 信一	6	係長	...	...	...
400	開発部	10007	加藤 恭子	8	平社員	...	...	...
400	開発部	10008	田中 敏夫	6	係長	...	...	...
300	営業部	10005	新井 清雄	8	平社員	...	...	...
300	営業部	10009	藤川 光男	8	平社員	...	...	...
300	営業部	10010	野村 美由紀	7	主任	...	...	...

【図 7】

役職コード	役職名	社員コード	氏名	所属コード	所属名	画像ファイルパス	回転度	...
4	部長	10002	川田 しげる	200	企画部	...	...	...
5	課長	10001	山田 一郎	100	管理部	...	...	...
6	係長	10003	小川 いずみ	400	開発部	...	...	...
6	係長	10004	小山 信一	400	開発部	...	...	...
6	係長	10008	田中 敏夫	400	開発部	...	...	...
7	主任	10006	麻田 徳治	200	企画部	...	...	...
7	主任	10010	野村 美由紀	300	営業部	...	...	...
8	平社員	10005	新井 清雄	300	営業部	...	...	...
8	平社員	10007	加藤 恭子	400	開発部	...	...	...
8	平社員	10009	藤川 光男	300	営業部	...	...	...

【図 8】

フロントページの続き

(72)発明者 唐鎌 勝彦

東京都新宿区西新宿 6 丁目 8 番 1 号 住友不動産新宿オークタワー 3 2 F 株式会社オービックビ
ジネスコンサルタント

(72)発明者 上石 充

東京都新宿区西新宿 6 丁目 8 番 1 号 住友不動産新宿オークタワー 3 2 F 株式会社オービックビ
ジネスコンサルタント